



## 1 経営概要

収益性

### ■経営の状況

事業利益……………13億73百万円  
経常利益……………18億81百万円  
当期剰余金……………13億72百万円

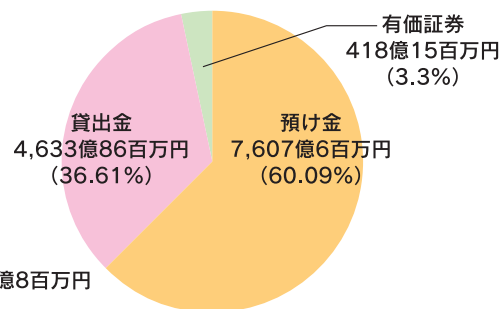
### ■貯金・貸出金

貯金……………1兆2,418億59百万円  
貸出金……………4,633億86百万円

### ■資金運用構成

JAでは、貸出金以外にも預け金や有価証券で運用し、いつでも使える安全な余裕資金を豊富に保有しており、資金繰りは安定しています。

合計 1兆2,659億8百万円



## 2 不良債権の状況

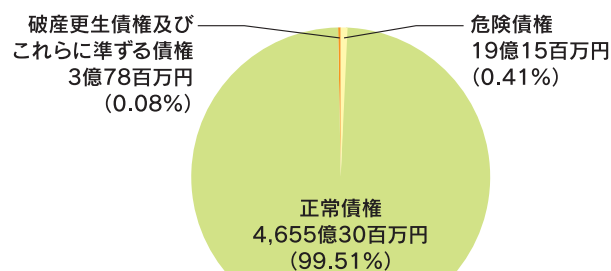
健全性

### ■農協法に基づく開示債権の状況及び金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全状況

(単位:百万円、%)

	債券額 (A)	保全額 (B)	担保保証等	貸倒引当金	保全率 (B/A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	378	378	320	58	100.0%
危険債権	1,915	1,915	1,894	20	100.0%
要管理債権	—	—	—	—	—
正常債権	465,530	465,530	465,530	—	100.0%
合計	467,824	467,824	467,745	79	100.0%

JAでは、資産の健全性を高めるため半期毎に厳格な資産の自己査定を実施し、必要な償却・引当等の処理を実施しています。



開示対象債権合計 4,678億24百万円

## 3 自己資本比率 (健全経営のバロメーター)

健全性 安全性

自己資本比率とは、経営の健全性を示す指標の一つで、JAが保有する貸出金や有価証券等のリスクがある資産に対して出資金などの自己資本がどれくらいあるかを示しています。

自己資本額  
845億75百万円

自己資本比率  
14.66%  
(単体)

### 【自己資本比率の基準】

- 国内基準 4%以上 国内だけで事業を行う金融機関に求められる基準
- 国際基準 8%以上 海外に拠点を有する金融機関に求められる基準

## 4 JAバンク・セーフティネット

安心・安全性

JAバンクは、「破綻未然防止システム」と「貯金保険制度」という二重のセーフティネットを構築しています。

### 破綻未然防止システム (JAバンク独自のシステム)

- 経営の健全性にかかる自主基準の設定
- 経営状況のチェックによる問題点の早期発見と改善
- 「JAバンク支援基金」による資本注入や資金援助

### 農林中央金庫の格付

格付け機関名	格付け種類	ランク
ムーディーズ社	長期債務格付け	A1
	短期債務格付け	P-1
スタンダード&プアーズ社	長期債務格付け	A
	短期債務格付け	A-1

令和7年9月末現在

### 貯金保険制度 (国の公的制度)

貯金保険制度とは、貯金等の払戻しができなくなった場合などに、貯金者等の保護や資金決済の確保を図る公的制度です。

### 貯金等の保護の内容

貯金等の分類		平成17年4月から
決済用貯金	当座貯金・無利息の普通貯金等	全額保護 (恒久措置)
一般貯金等	有利息の普通貯金・定期貯金・定期積金等	元本の合計1,000万円までとその利息等を保護
外貨貯金・譲渡性貯金等		保護対象外

